

ながさき農業デジタル化促進事業（R5～R7）（継続）

【事業のポイント】

- 「快適で儲かる農業」を実現し多様な人材の定着・活躍を図るため、デジタル指導体制整備から人材育成、技術導入支援を一貫して実施。
- ソフト事業として、栽培環境のモニタリング結果に基づいた環境制御を生産者間でデータ共有し生産効率向上や指導体制強化を図る。
- ハード事業として、「園芸産地スマート農業技術導入（環境制御装置等）」と、水田水管理システム等「遠隔・自動化技術」の導入を支援。

【事業内容】

1. 次世代デジタル産地づくり推進事業

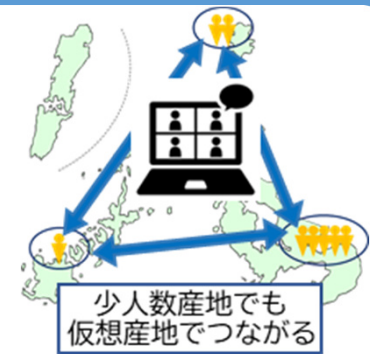
- 地理的制約を受けず、遠隔地指導や本県その他品目栽培に対応できるデジタル指導体制づくりや農業のデジタル人材を育成

（１）デジタル技術の指導体制整備（県事業）

- ・県普及指導員等、産地データの収集・分析能力の習得及び生産者への指導技術の向上を図る

（２）農業デジタル人材の育成（県環境制御普及協議会）

- ・産地内及び産地間での勉強会や研修会を通して、データ駆動型技術等を駆使する生産者の育成を図る



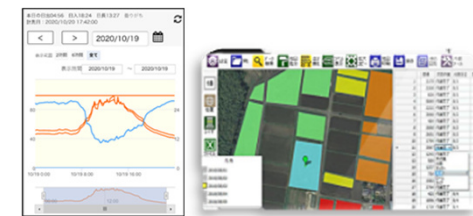
2. 次世代デジタル産地づくり整備事業

- 多様な人材が活躍できる「快適で儲かる農業」の実現のため、データ駆動型技術、遠隔・自動化技術の導入を支援
▶事業実施主体：農業者の組織する団体等 ・補助率：1/3以内

（１）データ駆動型技術導入支援

環境制御機器・装置（いちごベンチ含む） クラウド型マルドリコントローラー 圃場情報等管理システム（水田品目の追加・運用変更）

【データ駆動型】



（２）遠隔・自動化技術導入支援

自動換気装置 自動灌水装置 生育ライブカメラ 直進アシストシステム
可変型施肥田植機 水田管理システム ラジコン草刈機 アスパラガス自走式防除機

【遠隔・自動化】

